

日本測地学会第 134 回講演会プログラム

期日：2020 年 10 月 21 日（水）～ 10 月 23 日（金）

場所：オンライン

主催：日本測地学会

講演会予定表

	10 月 21 日（水）	10 月 22 日（木）	10 月 23 日（金）
9	開会宣言（9:30-9:35）		
10	測地・南極測地(01-04) 9:35-10:35	地殻変動(2) (27-38) 9:15-12:15	地殻変動(4) (52-59) 9:15-11:15
11	GNSS(1) (05-09) 10:35-11:50		重力(1) (60-62) 11:15-12:00
12	昼休み	昼休み	昼休み
13	GNSS(2) (10-14) 12:50-14:05		重力(2) (63-65) 13:00-13:45
14	SAR(1) (15-16) 14:05-14:35	地殻変動(3) (39-43) 13:15-14:30	計測技術 (66-68) 13:45-14:30
15	休憩	休憩	休憩
16	SAR(2) (17-24) 14:50-16:50	海洋測地 (44-51) 14:45-16:42	GGOS (69-74) 14:45-16:15
17	地殻変動(1) (25-26) 16:50-17:20	坪井賞授賞式・記念講演 16:42-17:35	
18			

【口頭発表】発表時間は質疑応答を含めて1件15分または12分（坪井賞受賞記念講演は40分）です。申し込みの際に12分で申請された方は15分、10分で申請された方は12分としています。

2020年10月21日(水)

開会宣言 (9:30-9:35)

測地・南極測地 (9:35-10:35)

座長：田中愛幸

01 9:35-9:50

GNSS アンテナ付きコーナーリフレクタを用いた地盤変動監視

#鳴海智博, 山口範洋, 白石理紗子, 里村幹夫
伊藤広和, 小林敬幸, 末野幹雄, 古田竜一
道家涼介

02 9:50-10:05

フィリピンの空港での精密測量と地殻変動について

#里村幹夫, 伊藤広和, 小林敬幸, 末野幹雄
鳴海智博, 山口範洋, 白石理紗子
Francisco P. Alconera
Raymund Arnold S. Alberto

03 10:05-10:20

100 km 級相対論測地を検証するための重力ポテンシャル差の測地学的見積もり

#田中愛幸, 青木陽介

04 10:20-10:35

昭和基地内の測地観測へ与えるローカルな積雪の影響

#服部晃久*, 土井浩一郎, 青山雄一, 奥野淳一

GNSS(1) (10:35-11:50)

座長：日置幸介

05 10:35-10:50

GEONET 観測網で観測した Galileo 衛星データの解析

#島田誠一

06 10:50-11:05

GPS, GLONASS, GALILEO の同時解析による座標比較
#中尾 茂, 伊藤広和, 多田吉成, 小林敬幸
沓澤 哲, 藤井綾香, 末野幹夫, 里村幹夫

07 11:05-11:20

JISLaD 精密解と F3 解・F5 解との比較検証

#末野幹雄, 島田誠一, 中尾 茂, 里村幹夫
伊藤広和, 多田吉成, 小林敬幸, 沓澤 哲
藤井綾香

08 11:20-11:35

GEONET 新解析ストラテジによる最終解 (F5 解) の精度評価

#加藤知瑛, 高松直史, 村松弘規, 古屋智秋
阿部 聡, 大野圭太郎, 檜山洋平

09 11:35-11:50

迅速・高精度な GNSS 定常解析システムの構築に関する研究

#中川弘之

昼休み (11:50-12:50)

GNSS(2) (12:50-14:05)

座長：中尾 茂

10 12:50-13:05

GNSS キネマティック解析における cc-difference 処理の効果について

#今給黎哲郎, 池田隆博

11 13:05-13:20

四次元ダイナミック座標のための速度推定法の検討 (その2)

#里村幹夫, 伊藤広和, 末野幹雄, 島田誠一
多田吉成, 沓澤 哲, 小林敬幸, 中尾 茂

12 13:20-13:35

PTS 解析による 2011 年東北地方太平洋沖地震の地震時すべりから初期余効すべりまでの連続的な推定

#田中優介*, 太田雄策, 宮崎真一

13 13:35-13:50

2010 年に発生したメンタワイ地震直前・直後の TEC 変化

#高坂宥輝*, 日置幸介

14 13:50-14:05

電離圏擾乱を用いた火山噴火規模の新指標

#日置幸介, M.N. Cahyadi, R. W. Rahayu
中島悠貴

SAR (1) (14:05-14:35)

座長: 高田陽一郎, 奥山 哲

15 14:05-14:20

GEONET 天頂遅延と遅延勾配を利用した InSAR 大気伝搬遅延補正モデルの構築

#木下陽平

16 14:20-14:35

気象研究所における干渉 SAR 対流圏遅延補正プログラムへの地上面解析値の導入

#奥山 哲, 安藤 忍, 新堀敏基

-休憩-

SAR (2) (14:50-16:50)

座長: 高田陽一郎, 奥山 哲

17 14:50-15:05

小笠原諸島西之島の溶岩噴出率の算出の試み

#安藤忍, 奥山 哲, 飯野英樹

18 15:05-15:20

干渉 SAR 時系列解析による桜島の地盤変動

#三浦 哲, 森下 遊, 太田雄策, 出町知嗣

19 15:20-15:35

Unrest Episodes at Domuyo and Laguna del Maule Volcanic Complexes, Southern Andes, Revealed by InSAR Time-series Analyses

#Micaela Colavita*, Satoshi Miura
Yu Morishita

20 15:35-15:50

LiCSBAS による国家規模の干渉 SAR 時系列解析

#森下 遊

21 15:50-16:05

スプリットスペクトラム法を利用した SAR 干渉法による大規模地殻変動の検出

#小澤 拓, 姫松裕志

22 16:05-16:20

遠音別岳における地すべり運動の時空間変化: JERS, ALOS, ALOS-2 を用いて

#高田陽一郎, 本野穰治

23 16:20-16:35

Heavy rain observed by InSAR and SSM; interpretation of tropospheric dispersive phase

#Naufal Setiawan1, Masato Furuya

24 16:35-16:50

InSAR による森林火災直後のサーモカルスト開始
過程の研究

#柳谷一輝*, 古屋正人, 岩花剛, Petr Danilov

29 9:45-10:00

既存未使用井戸を用いた歪観測による短期的 SSE
の検出

#板場智史

地殻変動(1) (16:50-17:20)

座長: 姫松裕志

25 16:50-17:05

PALSAR-2 時系列解析による 2018 年草津白根山噴
火に伴う地殻変動の検出

#姫松裕志, 青木陽介, 小澤拓

#加納将行, 加藤愛太郎

26 17:05-17:20

2020 年タール火山噴火に伴う地殻変動とその一解
釈

#橋本学

30 10:00-10:15

西南日本で発生する短期的スロースリップイベン
トの累積すべり分布の推定

31 10:15-10:30

琉球弧南西部で発生する SSE に関するすべり時空
間発展の解析

#駒野和基*, 宮崎真一, 加納将行

松島 健, 西村卓也

2020 年 10 月 22 日 (木)

#三井雄太, 加納将行

地殻変動(2) (9:15-12:15)

座長: 三井雄太, 田部井隆雄

27 9:15-9:30

GNSS データを用いた短期的スロースリップイベン
トの検出手法の開発と南海沈み込み帯への適用

#岡田悠太郎*, 西村卓也, 田部井隆雄

松島 健, 廣瀬 仁

33 10:45-11:00

Earthquake/tsunami potential due to a slow
subduction of the Caribbean plate in
northwestern Colombia

#LIZARAZO Sindy Carolina*, SAGIYA Takeshi

MORA-PAEZ Hector

28 9:30-9:45

トレンドフィルタリングを用いた GNSS 観測点か
らの短期的スロースリップの自動検出

#矢野恵佑, 加納将行

34 11:00-11:15

Evaluation of earthquake potential through a
kinematic block motion model based on GNSS
observation in Indonesia

Rio Raharja*, Takeo Ito, Hiroshi Kimura

Irwan Meilano

- 35 11:15-11:30
GNSS ひずみ速度比から推定する新潟-神戸ひずみ
集中帯の力学特性
#鷺谷 威, アンヘラ・メネセス-グティエレス
- 36 11:30-11:45
The Present-day Relative Motion and Slip
Rate Distribution along Sagaing Fault
Segments estimated from GNSS Observation in
Myanmar
#Tha Zin Htet Tin*, Takuya NISHIMURA
Manabu HASHIMOTO, Eric LINDSEY, Myo Thant
- 37 11:45-12:00
陸上および海底地殻変動観測データから推定され
る南海トラフ沿いの力学的固着分布
#木村 洋*, 田所敬一, 伊藤武男, 篠島僚平
- 38 12:00-12:15
GNSS 変位速度場から推定したネパール・ヒマラヤ
主要断層帯の地震間カップリング
#田部井隆雄, 大園真子, Bishow R. Silwal
Rajendra Bhandari, Janak B. Chand
Soma N. Sapkota, 三宅弘恵, 纈纈一起
- 39 13:15-13:30
GNSS CORS と InSAR に基づく北海道胆振地方にお
ける鉛直変位の把握
#山下達也, 高木 悠, 塩谷俊治, 三木原香乃
- 40 13:30-13:45
1925 年北但馬地震 (M6.8) の震源断層モデル
#西村卓也, 水戸川司
- 41 13:45-14:00
InSAR data analysis to constrain source
parameters of Iranian blind thrust
earthquakes ($M_w \geq 5.8$)
#Nematollah Ghayournajarkar*, Yo Fukushima
- 42 14:00-14:15
2016 年チャマン断層沿いの中規模地震における
Post-Seismic/Co-Seismic Moment の比
#古屋正人, 松本史子
- 43 14:15-14:30
草津白根山・浅間山の火山性地殻変動モデリング
(2014-2020)
#宗包浩志
- 休憩-
- 海洋測地** (14:45-16:42)
座長: 石川直史, 富田史章
- 44 14:45-14:57
海上保安庁の海底地殻変動観測の新解析戦略とデ
ータの公開
#石川直史, 渡邊俊一, 横田裕輔, 中村優斗
- 45 14:57-15:12
GNSS-A データ解析ソフトウェア GARPOS を用いた
数値シミュレーションによる GNSS-A 測位精度の評
価
#中村優斗, 渡邊俊一, 石川直史, 横田裕輔
- 昼休み** (12:15-13:15)
- 地殻変動(3)** (13:15-14:30)
座長: 西村卓也

46 15:12-15:27

根室沖の水平・鉛直地殻変動検出のための中心改定曲を加えたアレイを用いた GNSS-音響測距

木村友季保*, 木戸元之, 太田雄策, 本荘千枝
富田史章

47 15:27-15:42

移動観測・海上多点観測を含む GNSS-音響観測の観測条件について

#木戸元之

48 15:42-15:57

ウェーブライダーを用いた GNSS 音響結合方式の海底地殻変動の検出（長期運用に向けた試験観測成果・序報）

#富田史章, 飯沼卓史, 木戸元之
太田雄策, 福田達也, 本荘千枝

49 15:57-16:12

係留ブイによる GNSS-A 海底地殻変動観測のための解析手法の研究

#衣笠菜月, 田所敬一, 加藤照之, 寺田幸博

50 16:12-16:27

DONET 海底水圧計記録に対する非潮汐海洋モデルの適用とその評価

#大塚英人*, 太田雄策, 日野亮太
久保田達矢, 稲津大祐

51 16:27-16:42

非定常地殻変動の把握を目指した A-0-A 方式による深海対応海底水圧計ドリフト補正システムの開発（第 3 報）

#太田雄策, 日野亮太, 佐藤真樹子
鈴木秀市, 梶川宏明, 小島時彦

坪井賞授賞式・記念講演 (16:42-17:35)

第 27 回個人賞

GNSS-A 海底地殻変動観測による南海トラフ海底下のプレート間固着の検出およびその高感度化に基づく浅部スロースリップイベントの発見

#横田裕輔

2020 年 10 月 23 日（金）

地殻変動（4） (9:15-11:15)

座長：MENESES-GUTIERREZ Angela, 藤原 智

52 9:15-9:30

ひずみ速度推定における距離減衰定数の最適化に関する検討

#小杉一誠*, 三井雄太

53 9:30-9:45

定常時地殻変動補正システム（POS2JGD）の高度化へ向けて

#田中もも, 社 泰裕, 山下達也, 山尾裕美
高木 悠, 岩田昭雄

54 9:45-10:00

東北地方における 3 次元地殻変動データに対する主成分分析の適用

#深谷俊太郎*, 鷺谷 威

55 10:00-10:15

How steady is crustal deformation in Northeast Japan? Evidence from an integrated analysis of centennial geodetic data

#MENESES-GUTIERREZ Angela, SEGALL Paul
SAGIYA Takeshi

56 10:15-10:30

東北地方太平洋沖地震の余効変動予測の検証 2020
#藤原 智, 飛田 幹男, 小沢 慎三郎

57 10:30-10:45

2008 年岩手宮城内陸地震の余効変動における地殻
内不均質構造の影響
#竹井義貴*, 高田陽一郎, James D. P. Moore
大園真子

58 10:45-11:00

2003 年十勝沖地震の粘弾性緩和における不均質構
造の効果の計算
#星野宏行, 宮崎真一, 大谷真紀子, 平原和朗

59 11:00-11:15

雨で凹む地面: 2019 台風 19 号と 2018 西日本豪雨
#日置 幸介, 占偉, シャフルル・アリーフ

重力 (1) (11:15-12:00)

座長: 松尾功二

60 11:15-11:30

道東屈斜路カルデラ地域における精密重力モニタ
リング

#名和一成, 山崎 雅, 宮川歩夢, 山佳典史
高橋浩晃, 大園真子, 岡田和見
山口照寛, 岡 大輔, 岡崎紀俊, 今西祐一
西山竜一, 本多 亮, 池田 博, 白川龍生
大井拓磨

61 11:30-11:45

超伝導重力計 (iGrav#017) 観測で得た道東・弟子屈
の約 2 年間の重力時間変化
#山佳典史*, 名和一成

62 11:45-12:00

苫小牧市沿岸域における複数台の超伝導重力計を
用いた重力並行観測
#後藤宏樹, 杉原光彦, 西祐司, 池田博

昼休み (12:00-13:00)

重力 (2) (13:00-13:45)

座長: 名和一成

63 13:00-13:15

小型絶対重力計 TAG-1 の系統誤差評価とさらなる
小型化
#新谷昌人, 三浦哲, 田村良明, 坪川恒也

64 13:15-13:30

航空重力データの重力ジオイド計算への適用 -
関東地方を例に -

#松尾功二

65 13:30-13:45

京都大学~比叡山頂間における高頻度キャンペー
ン相対重力測定
#風間卓仁, 若林 環

計測技術 (13:45-14:30)

座長: 小門研亮

66 13:45-14:00

相馬駿潮場における電波式験潮儀とフロート式験
潮儀の比較観測
#福岡順洋, 下平佳朱美, 三和功喜, 嵯峨 諭
大脇温子, 小川英夫, 山崎康正

67 14:00-14:15

低価格アンテナ・受信機を用いた GNSS 連続観測システムの開発

#小門研亮

68 14:15-14:30

次世代超高感度マイクロ波放射計用広帯域受信機の開発

#氏原秀樹, 市川隆一, 佐藤晋介, 太田雄策
宮原伐折羅, 宗包浩志, 長崎岳人, 田島 治
荒木健太郎, 田尻拓也, 松島 健, 瀧口博士
松島喜雄, 桃谷辰也, 宇都宮健司

-休憩-

GGOS (14:45-16:15)

座長: 阿部 聡

69 14:45-15:00

全球統合測地観測システム (GGOS) —役割と活動—
#宮原伐折羅

70 15:00-15:15

測地基準座標系の持続可能な維持管理のための測位衛星暦推定の試み

#阿部 聡, 熊谷光起, 大野圭太郎, 古屋智秋
檜山洋平, 宗包浩志, 宮原伐折羅

71 15:15-15:30

広帯域受信機を用いた S 帯観測の実現に向けて:
石岡 VLBI 観測施設における超伝導フィルターの導入

#高木 悠, 林京之介, 上芝晴香, 中久喜智一
松本紗歩, 湯通堂亨, 森 克浩, 小林知勝
関戸 衛

72 15:30-15:45

VLBI 周波数比較への応用と GALA-V システムの開発 (XI) —誤差評価と Node-Hub 方式 VLBI の展望—

#関戸 衛, 岳藤一宏, 氏原秀樹, 近藤哲朗
Nils Nemitz, Monia Negusini, 堤 正則
川合栄治, 蜂須英和, M.Pizzocaro, C.Clivati
F.Perini, G.Maccaferri, R.Ricci, M.Roma
C.Bortolotti, G.Zacchiroli, J.Roda
難波邦考, 高橋留美, 岡本慶大, 小室純一
市川隆一, J.Leute, G.Petit, D. Galonico
井戸哲也

73 15:45-16:00

下里水路観測所における SLR 及び GNSS 観測によるグローバル測位

#渡邊俊一, 瀬尾徳常, 中村優斗, 横田裕輔

74 16:00-16:15

SLR 装置の小型化・低価格化の試み: Omni-SLR 計画の概要

#大坪俊通, 荒木博志, 横田裕輔, 土井浩一郎
国森裕生, 小林美穂子, 塚越 涼, 友松雅人
松本岳大

閉会宣言 (16:15-16:20)

(#: 発表者, *: 学生優秀発表表彰対象者)

2020年公開講座 (<http://www.geod.jp.org/contents/openlc.html>)

●地震や火山を実験で再現しよう！

日時：10月24日(土)
 午前の部 10時30分～12時
 午後の部 14時～15時30分
 会場：オンライン

参加無料ですが 事前申込 が必要です(締切：10月7日 水曜日 必着)。定員は各回15名です。応募者多数の場合は抽選になります。

じしん かざん
地震や火山を
 じっけん さいげん
実験で再現しよう！
 日本測地学会・参加体験型公開講座(オンライン版)

参加費 無料

日時 **10月24日(土)**
 2020年
 ◆午前の部 10:30~12:00 ◆午後の部 14:00~15:30

開催方式 **Zoomによるオンライン形式**
 ◆学会から実験キットをご自宅まで事前に郵送します
 ◆講当日はインターネット経由で講中に参加し、各自自宅で実験をすることができます
 ◆講当日までの流れは、裏面をご参照ください▶▶▶

講師 京都大学 理学研究科 測地学研究室 助教 **風間 卓仁**

対象 **小学生以上**
 ◆小学生が本講座に参加する場合は、保護者の方に参加者の実験を補助していただく必要があります
 ◆ご家庭でコンピューターやタブレットを所有しており、安定したインターネット環境を使用できる必要があります

定員 **各回 15名**
 ◆応募者多数の場合は抽選となります

申込方法 **メールでの申し込み**
 詳細は裏面をご参照ください▶▶▶

締切 **10月7日(水) 必着**

開催団体 主催：日本測地学会、神奈川県立生命の星・地球博物館
 協力：神奈川県測地学研究所

実験内容の詳細

神奈川県西部地域には箱根山や活断層があり、地震や火山噴火の脅威にさらされています。この講座は地震や火山をテーマに、インターネット経由で参加する体験型の講座です。当日は参加者が各自自宅を実験を行い、身の回りのものを使って地震や火山の仕組みを再現します。例えば、小麦粉とココアを使って地震断層を作ったり、砂と風船を使って火山のカルデラ地形を再現したりします。この講座を通して、地震火山や測地学のことを知り、防災意識を高める良い機会になれば幸いです。(2016年@神戸、2017年@岐阜、2018年@鳥取、2019年@岡山)

▲過去の公開講座の様子

申込方法の詳細 参加希望の方は以下の項目を準備し、メールでお申し込みください。(生命の星・地球博物館HPでも同様の内容をご案内しております。)

◆記入すべき項目
 ① 郵便番号・住所
 ② 参加者の氏名と学年
 ③ 保護者の氏名
 ④ 電話番号
 ⑤ メールアドレス
 ⑥ 参加希望の部(午前または午後)

◆メールアドレス(申込先および問合せ先)
koza2020@onken.odawara.kanagawa.jp
 ※温帯地学研究所のドメインを使用した公開講座専用のメールアドレスです。
 このQRコードをスマホ等でスキャンすれば、メールアドレスを自動入力できます。

講座までの流れ

- ◆10月10日(土)まで
 実験キットをメールでお送りします。御届の際はお名前を記入し、お名前と住所を記入した封筒に入れてお送りください。もしもメールが届かない場合は、お名前と住所を記入した封筒を郵便局の窓口へお送りください。まだ届いていない場合はお問い合わせください。
- ◆10月12日(月)の週
 講当日に使用する実験キットをご自宅まで郵送します。また、インターネット接続環境がZoomに関する情報をメールでお送りいたします。
- ◆10月17日(土)・18日(日)ほか
 本講座を通して、インターネット会議システムZoomの操作方法をメールでお送りいたします。Zoomを使用したお名前と住所は、Zoomの使い方をご案内いたします。
- ◆10月24日(土)
 インターネット会議システムZoomを用いて、オンラインで公開講座を実施します。

測地学(そくちがく)とは?
 測地学はGPSなどの高精度の装置を用いて地球の大きさや形を正確に測定する学問のことです。また、地球の形の変化を捉えることで地震や火山といった地球内部の現象を把握するのにも用いられています。10月21日(水)～23日(金)には日本測地学会の学術講演会が小田原市で開催予定です。詳しい情報は日本測地学会HPをご覧ください。
<http://www.geod.jp.org/> **日本測地学会** **検索**

2020年公開講座用チラシ(左：表面；右：裏面)